議事１　鉄道助成業務の実施状況に関する事項
（審議事項）

・令和5年度　補助金審査の概況
・令和5年度　補助金審査の実施状況

令和5年度 補助金審査の概況

鉄道・運輸機構 JRTT

資料1－1

1. 補助金交付（勘定間繰入）決定及び額の確定等の状況

- 令和5年度の交付（繰入）決定については、合計75件の補助申請の審査を行い、交付（繰入）申請どおり総額約1,024億円を決定した。
- 令和5年度の額の確定に係る補助金審査については、合計70件の審査により、約1,208億円の額の確定を実施した。

2. 補助金審査の状況

（1）現地審査業務の実施状況

- 令和3年度に実施した新型コロナウイルス感染症対策の結果も踏まえつつ、必要な審査時間及び審査員を確保した上で、不測の事態が発生しても補助金交付業務に支障が生じないよう、計画的かつ余裕をもって補助金審査を実施した。実際に延期する審査が発生したが、振り替え実施することができ、予定した審査の全件を実施することができた。
- 全ての補助金審査案件において現地審査の前にオンライン会議を実施し、事前の整理を十分に行うことで現地審査の効率化・深度化を図り、事後整理にかかる時間を短縮した。
- 令和4年度までは新型コロナウイルス感染症対策として継続事業の現場調査を一部控えていたが、令和5年度においては原則として全事業で実施。

○ 実施時期別の現地審査業務実績（審査要員数×日数）

実施時期	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
～10月		40	0	12	38
11月	99	58	8	0	25
12月		104	38	49	34
1月	43	0	56	97	79
2月	98	0	88	102	133
3月	68	14	41	35	40
合計	308	216	231	295	349

令和5年度 補助金審査の概況

（2）現地審査実施上の主なポイント

① 重点審査項目への対応等

補助金審査計画において設定された重点審査項目に沿った現地審査によって、各審査員の審査の視点が共通化され、効果的な審査が実施できた。

令和5年度 重点審査項目	確認した事象	対応	
【1】工事費の積算等	**＜既存公共施設の財産価値の減耗分が未控除＞** 既存公共施設の移設（新設・撤去）費用について、当該公共施設を移設するまでの財産価値の減耗分が未控除であった。	移設費用から財産価値減耗分を控除	令和6年度 重点審査項目 ※
【2】補助対象範囲	**＜補助対象外費用の計上＞** 補助対象となる支障移転工事に合わせて、これと関係しない周辺設備の更新（老朽更新）を行っていた。	周辺設備の更新に係る費用を減算	令和6年度 重点審査項目 ※
【3】仕様書等の条件と実績	**＜仕様書の条件に対する実績の未確認＞** 仕様書の条件となっていた列車見張員の実績管理ができていなかった。	実績管理の徹底を指導	
－	**＜特命随意契約方式とする理由の未整理＞** 特命随意契約方式にて発注していたが、その方式を採用した理由の整理がなされていない状態となっていた。	特命随意契約理由書の整理を指導	令和6年度 重点審査項目 ※

② 抽出審査の実施状況

契約件数が一定程度を超える事業等について行うことのできる抽出審査は、第三者委員会で了承頂いた抽出方針を踏まえ、それぞれの事業ごとに20件以上を抽出し、かつ抽出した審査金額が補助対象事業費の最低1/4以上とする目標を達成した。

※詳細はP.25

資料１－２

鉄道技術開発費補助金

東芝インフラシステムズ株式会社による
「列車前方検知等の鉄道自動運転に向けた要素技術の開発」

目次

１. 補助制度

２. 補助事業の概要（東芝インフラシステムズ㈱）

３. 補助金審査の実施

４. 補助金審査の結果

令和5年度 補助金審査の実施状況（個別案件）

鉄道・運輸機構 JRTT

資料1－2

1. 補助制度（鉄道技術開発費補助金）

（1）目的

鉄道技術開発を促進し技術水準の向上を図る。

（2）事業概要

鉄道技術開発を促進し技術水準の向上を図ることを目的として、鉄道分野に関する技術開発を実施する能力を有する法人が行う技術開発に要する費用の一部を補助する。

（3）制度の内容

○ 補助対象事業者：鉄道分野に関する技術開発を実施する能力を有する法人

○ 補助対象　：①鉄道の安全対策に係る技術開発
②鉄道の環境対策に係る技術開発
③新技術の鉄道への応用に係る基礎的、基盤的技術開発

○ 補助率　：1／2

○ 補助の仕組み

国（機構経由）

↓

鉄道分野に関する技術開発を実施する能力を有する法人

令和5年度 補助金審査の実施状況（個別案件）

1. 補助制度（鉄道技術開発費補助金）

（4）補助実績

（単位：千円）

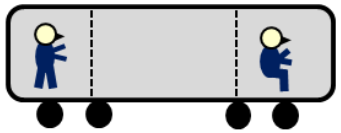
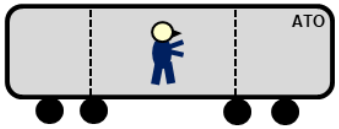
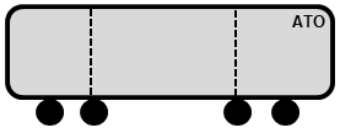
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業者数	3社	3社	4社	7社	2社
事業費	287,432	389,402	178,128	291,482	234,770
交付実績額	143,716	194,701	89,064	145,741	117,385

※交付実績額：当該年度に補助金額の確定となった金額。令和4年度であれば、令和4当初予算と令和3補正予算（繰越）の実績額。

鉄道の乗務形態による分類（自動化のレベル）

鉄道・運輸機構 JRTT

資料１－２

自動化レベル （IEC(JIS)による定義※）	乗務形態のイメージ （[　]内は係員の主な作業）	国内の導入状況
GoA0 目視運転　TOS	 運転士（および車掌）	路面電車
GoA1 非自動運転　NTO		踏切道がある等の一般的な路線
GoA2 半自動運転　STO	運転士［列車起動、緊急停止操作、避難誘導等］	一部の地下鉄　等
GoA2.5 （緊急停止操作等を行う係員付き自動運転） ⇒IEC及びJISには定義されていない	列車の前頭に乗務する係員［緊急停止操作、避難誘導等］	JR九州香椎線
GoA3 添乗員付き自動運転　DTO	 列車に乗務する係員［避難誘導等］	一部のモノレール
GoA4 自動運転　UTO	 係員の乗務無し	一部の新交通　等

※IEC 62267（JIS E 3802）：自動運転都市内軌道旅客輸送システムによる定義
（IEC：国際電気標準会議（International Electrotechnical Commission）電気及び電子技術分野の国際規格の作成を行う国際標準化機関）

出典：国土交通省作成資料

２．補助事業の概要（東芝インフラシステムズ㈱ ）

別冊参照

令和5年度 補助金審査の実施状況（個別案件）

鉄道・運輸機構 JRTT

資料1－2

3. 補助金審査の実施（東芝インフラシステムズ㈱）

事業概要ヒアリング（オンライン）

【令和5年11月9日（木）】

時刻	内容
15:00－16:00	事業概要説明

※ヒアリング終了後、本審査までの間、適宜、審査事前照会を実施

本審査（現地）

【令和6年3月4日（月）～3月6日（水）】

時刻	内容
10:00－12:00	事業概要説明及び書類審査
12:00－13:00	休憩（昼食）
13:00－17:00	書類審査

※審査は3日間とも全て事業者内の事務所にて実施

現地審査の前にオンライン会議を実施し、事前の整理を十分に行うことで本審査の効率化・深度化を図り、事後整理にかかる時間を短縮した。

令和5年度 補助金審査の実施状況（個別案件）

3. 補助金審査の実施（東芝インフラシステムズ㈱）

審査のポイント

〇事業内容が補助目的に沿ったものであるか。
〇補助事業の遂行上、必要なものであるか。
〇補助事業としての手続きの正確性、合規性。
〇補助事業内容の経済性、効率性、有効性。

〇審査員：3人
〇現場調査は、書類審査の会場内で、書類審査と併せて実施

令和5年度 補助金審査の実施状況（個別案件）

３．補助金審査の実施（東芝インフラシステムズ㈱）

書類審査（審査チェック対象項目）（事項：調査・設計・測量）

① 調査内容の確認

② 契約方法

③ 契約内容

④ 調査等の完了に関する確認

⑤ 委託調査等の確認

⑥ 直営調査等に関する事項

⑦ 支払に関する確認

⑧ 成果物の確認

令和5年度 補助金審査の実施状況（個別案件）

3. 補助金審査の実施（東芝インフラシステムズ㈱）

□審査調書（様式）

令和 5年度 鉄道技術開発　審査調書　　事業者名：○○○○

（単位：円）

契約番号	費目	件名	計画額	基準価格	積算方式	契約年月日	完了予定年月日	検収年月日	契約金額	支払状況			摘要
				契約方式	支給材料					支払年月日（見込）	支払額	うち補助対象外	

① 契約番号	③ 費目	④ ⑦ ⑧ 件名	② 計画額	② 基準価格	② 積算方式
				② 契約方式	支給材料

契約年月日 ③	完了予定年月日 ④	検収年月日	契約金額 ③	支払状況			摘要
				支払年月日（見込）	支払額 ⑦	うち補助対象外	

令和5年度 補助金審査の実施状況（個別案件）

鉄道・運輸機構 JRTT

資料1－2

3. 補助金審査の実施（東芝インフラシステムズ㈱）

□ 交付決定に係る審査チェックシート

JRTT Japan Railway Construction, Transport and Technology Agency　独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

＊補助金の交付決定に係る審査チェックシート＊

補助金の名称	鉄道技術開発費補助金
補助事業者の名称	東芝インフラシステムズ株式会社
予　算　額	20,000,000 円
交付申請額	20,000,000 円
交付決定額	円

R5 年度

① 予算が確保されている	☑
② 申請額は予算の範囲内である	☑
③ 法令又は取扱要領に定める補助事業の範囲に適合している	☑
④ 法令又は取扱要領に定める補助事業者たる資格要件に適合している	☑
⑤ 法令又は取扱要領に定める補助金額の算定基準に適合している	☑
⑥ 補助事業の計画が補助目的に適合している	☑
⑦ 補助事業の計画が適正である	☑
~~（コンクリートの仕様を経済的なものとしている~~	~~□）~~
⑧ 補助事業の金額の算定に誤りがない	☑
⑨ 補助事業に必要な許認可等の手続が執られている	☑

「摘　要」

審査完了日：令和5年4月24日

審査員

令和5年度交付決定に係る判定内容（かっこ内は、根拠規定）

①「鉄道局関係予算配分概要」により、予算が確保されていることを確認。（国の担当者にも確認）（取扱要領第5条）

②交付申請書（第1号様式）等により、予算の範囲内の申請であることを確認。（取扱要領第5条）

③補助対象事業の範囲が、取扱要領に定める事業内容であることを交付申請書、参考資料にて確認。（取扱要領第3条）

④申請者は補助対象要件に該当していることを確認。（取扱要領第2条）

⑤補助金の額が補助対象経費の1/2であることを確認。（取扱要領第3条）

⑥補助事業の計画について、交付申請書、参考資料から当該補助目的に適合していることを確認。（取扱要領第5条）

⑦同上。

⑧同上。

⑨その他、必要な許認可等の手続きについては、事業者に確認。

令和5年度 補助金審査の実施状況（個別案件）

鉄道・運輸機構 JRTT

資料1－2

3. 補助金審査の実施（東芝インフラシステムズ㈱）

□ 審査チェックシート

JRTT Japan Railway Construction, Transport and Technology Agency　鉄道建設・運輸施設整備支援機構

＊補助金の額の確定に係る審査チェックシート＊　令和　5　年

補助金の名称	鉄道技術開発費補助金	補助事業者の名称	東芝インフラシステムズ株式会社
交付決定額	補助対象経費　20,000,000 円		
実績報告額	実績額　19,715,252 円		
確定補助金額	円		

事項	該当の有無	有	無
地方公共団体の協賛補助			☑
・地方公共団体の協賛補助が確保されている（協賛補助確保額）円		☐	
工事			☑
(1)書類等の審査			
①工事内容の確認			
・工事内容が補助事業に適合している		☐	
②契約方法			
・契約手続が適正に行われている		☐	
・随意契約の理由が妥当である		☐	
③契約内容			
・適正な契約書等が整えられている		☐	
・契約金額の基となる積算方法が適切である		☐	
・（コンクリートの仕様を経済的なものとしている		☐	
・工事内容の変更に伴う契約変更手続が執られている		☐	
④工事施工に関する確認			
・施工管理が適正に行われている		☐	
・支給品の管理が適正に行われている		☐	
⑤工事完了に関する確認			
・しゅん功確認が適正に行われている		☐	
・工事が適正に完了している		☐	
⑥発生の処理に関する確認			
・発生品の処理が適正に行われている		☐	
⑦委託工事の確認			
・委託工事の内容が補助事業に適合している		☐	
・適正な指定書等が整えられている		☐	
・委託工事が適正に履行されている		☐	
⑧直営工事に関する確認			
・直営工事に係る人件費の算出が適正に行われている		☐	
⑨支払に関する確認			
・支払条件等に基づき適正な金額が支払われている		☐	
(2)現場調査			
・設計図書、仕様書等のとおりに完成している		☐	
調査・設計・測量			☐
(1)書類等の審査			
①調査内容の確認			
・調査等の内容が補助事業に適合している			☑
②契約方法			
・契約手続が適正に行われている			☑
・随意契約の理由が妥当である			☑
③契約内容			
・適正な契約書等が整えられている			☑
・契約金額の基となる積算方法が適切である			☑
・調査等の内容の変更に伴う契約変更手続が執られている			☑
④調査等の完了に関する確認			
・履行確認が適正に行われている			☑
・調査等が適正に履行されている			☑
⑤委託調査等の確認			
・委託調査等の内容が補助事業に適合している			☐
・適正な指定書等が整えられている			☐
・委託調査等が適正に履行されている			☐
⑥直営調査等に関する事項			
・直営調査等に係る人件費の算出が適正に行われている			☐
⑦支払に関する確認			
・支払条件等に基づき適正な金額が支払われている			☑
⑧成果物の確認			
・設計図書、仕様書等のとおりに完了している			☑
(2)現場調査			
・設計図書、仕様書等のとおりに完了している			☑
機械器具・設備			☐
(1)書類等の審査			
①設備等の確認			
・設備等の内容が補助事業に適合している			☑
②契約方法			
・契約手続が適正に行われている			☑
・随意契約の理由が妥当である			☑
③契約内容			
・適正な契約書等が整えられている			☑
・契約金額の基となる積算方法が適切である			☑
・設備等の内容の変更に伴う契約変更手続が執られている			☑
④納入（設置）の完了に関する確認			
・履行確認が適正に行われている			☑
・設備等の納入（設置）が適正に履行されている			☑
⑤支払に関する確認			
・支払条件等に基づき適正な金額が支払われている			☑
(2)現場調査			
・仕様書等のとおりに納入（設置）されている			☑
用地の取得等			
(1)書類等の審査			
①取得内容の確認			
・土地等の取得又は使用の内容が補助事業に適合している		☐	
②取得価格の確認			
・適正な方法により取得価格が決定されている		☐	
③契約内容			
・適正な契約書等が整えられている		☐	
④引渡し等の確認			
・土地の引渡しが適正に行われている		☐	
・権利取得等が適正に行われている		☐	
⑤支払に関する確認			
・支払条件等に基づき適正な金額が支払われている		☐	
(2)現場調査			
・補助事業の用に供することが可能となっている		☐	
・補助事業に適合して使用されている		☐	
建物移転等の補償			
(1)書類等の審査			
①補償内容の確認			
・補償が補助事業に起因している		☐	
②補償金額の確認			
・適正な方法により補償金額が算定されている		☐	
③契約内容			
・適正な契約書等が整えられている		☐	
④移転等の確認			
・補償対象建物等の移転が適正に行われている		☐	
⑤支払に関する確認			
・支払条件等に基づき適正な金額が支払われている		☐	
(2)現場調査			
・補償対象となった建物等の撤去が完了している		☐	
物品・材料購入等			
(1)書類等の審査			
①物品等の確認			
・物品等の取得目的、仕様、数量等が補助事業に適合している			☑
②契約方法			
・契約手続が適正に行われている			☑
・随意契約の理由が妥当である			☑
③契約内容			
・適正な契約書等が整えられている			☑
・契約の基となる金額の算定が適切である			☑
④納入の確認			
・納入の確認が適正に行われている			☑
⑤支払に関する確認			
・支払条件等に基づき適正な金額が支払われている			☑
(2)現場調査			
・仕様、数量等が適正である			☑
修正指示事項の有無		有	無

「概　要」

補助金額確定日：令和　　年　　月　　日

現地審査実施日：令和6年3月6日

審査員　　審査員　　審査員

最終確認

※審査結果の詳細については次ページ以降参照

令和5年度 補助金審査の実施状況（個別案件）

鉄道・運輸機構 JRTT

資料1－2

3. 補助金審査の実施（東芝インフラシステムズ㈱）

□ 審査チェックシート(審査結果)

事項	調査・設計・測量	該当の有無	有	無 □
(1)書類等の審査				
①調査内容の確認				
	・調査等の内容が補助事業に適合している		☑	
②契約方法				
	・契約手続が適正に行われている		☑	
	・随意契約の理由が妥当である		☑	
③契約内容				
	・適正な契約書等が整えられている		☑	
	・契約金額の基となる積算方法が適切である		☑	
	・調査等の内容の変更に伴う契約変更手続が執られている		☑	
④調査等の完了に関する確認				
	・履行確認が適正に行われている		☑	
	・調査等が適正に履行されている		☑	
⑤委託調査等の確認				
	~~・委託調査等の内容が補助事業に適合している~~			□
	~~・適正な協定書等が整えられている~~			□
	~~・委託調査等が適正に履行されている~~			□
⑥直営調査等に関する事項				
	~~・直営調査等に係る人件費の算出が適正に行われている~~			□
⑦支払に関する確認				
	・支払条件等に基づき適正な金額が支払われている		☑	
⑧成果物の確認				
	・設計図書、仕様書等のとおりに完了している		☑	
(2)現場調査				
	・設計図書、仕様書等のとおりに完了している		☑	

令和5年度　額の確定　判定内容

（1）

① ・契約書及び仕様書を確認し、交付申請内容と整合した結果、適合していた。

② ・入札書類を確認し、適正に手続きされていた。
・随契理由の説明を受け、内容が妥当と判断。

③ ・契約書の内容が適正と判断。
・契約金額内訳書にて積算方法を確認。

④ ・しゅん功届等を確認し、適正にしゅん功されていた。
・併せて、現場調査にて、交付申請内容と整合した結果、適正であった。

⑤ ・該当なし

⑥ ・該当なし

⑦ ・請求書の金額が、適正に支払われていることを確認。

⑧ ・現場調査にて設計図書、仕様書等と照らし合せて完成していることを確認

（2）

・現場調査にて設計図書、仕様書等と照らし合せて完成していることを確認。

令和5年度 補助金審査の実施状況（個別案件）

４．補助金審査の結果（東芝インフラシステムズ㈱）

結果

〇補助事業の成果が補助金の交付の目的に適合していた。

〇補助事業の内容についても査定に値する事実はなかった。

令和6年4月17日 ： 補助金の額の確定
令和6年4月24日 ： 補助金の交付（支払い）

補助対象事業費 ： 39，430，504円
補助金交付額 ： 19，715，252円